

【資料 4-16】 学生の論文掲載数

(2019(R01) 年 10 月現在)

年度	2016 (H28)			2017 (H29)			2018 (H30)			2019 (R01)		
	学部学生	修士	博士	学部学生	修士	博士	学部学生	修士	博士	学部学生	修士	博士
共生人間学専攻	1	4	34	1	10	34	0 []	3 [3]	49 [38]	0 []	5 [5]	37 [29]
共生文明学専攻	0	7	12	1	2	10	0 []	2 [0]	16 [7]	0 []	2 [1]	10 [5]
相関環境学専攻	1	12	21	0	17	10	0 []	5 [2]	22 [15]	0 []	7 [5]	14 [12]
計	2	23	67	2	29	54	0 [0]	10 [5]	87 [60]	0 [0]	14 [11]	61 [46]
総計	92			85			97 [65]			75 [57]		

・注 [] 内の数字は筆頭著者を示し内数

【資料 4-17】 メディアに取り上げられた学生・修了生

(2019(R01) 年 11 月現在)

	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
1. 新聞	9	14	21	11
2. テレビ・ラジオ・雑誌				
3. HP	1	1		
4. その他				
計	10	15	21	11

※ 学部卒業後、大学院修了後 5 年以内の者を含む

1. 学部学生	2		2	
2. 学部卒業生 (5 年以内)			1	
3. 修士課程学生	1	2	0	1
4. 博士後期課程学生			3	1
5. 研究科修了生 (学位取得後 5 年以内)	7	13	15	9
計	10	15	21	11

【資料 4-18】 教育コンテンツ等の作成について

(教員アンケート 2012(H24)年6月・2015(H27)年7月・2017(H29)年7月実施)

内容	教員名	詳細
授業関連情報の WEB 掲載	日置 尋久	●演習科目、実習科目では授業資料、課題等を WEB サイトに提示している。 【URL】 ・ http://www.i.h.kyoto-u.ac.jp/~hioki/lect/ ●コンピュータリテラシーの演習では学生がグループ内でコミュニケーションをとれるようにするために学習支援システム (PandA) でフォーラム (掲示板) を開設し利用している。また同じく PandA を使って授業に関するコメントを学生に提出してもらって、それに対してフィードバックを行っている ●プログラミングの演習では独自のパッケージを作成し、授業で利用している
	立木 秀樹	●ホームページにて、作品、論文等を公開している ●Java Applet で、動作をさせながら理解できるようなコンテンツを提供している 【URL】 ・ https://www.i.h.kyoto-u.ac.jp/users/tsuiki/
	吉田 純	●過去の授業で用いた資料 (パワーポイントスライド)、学生が提出した課題などを、ウェブ上でアーカイブ化し、履修学生・TA および教員のみが閲覧できるよう、パスワードで保護している (平成 26 年度以降は、PandA を利用) 【URL】 ・ https://socio.kyoto-u.ac.jp/rtc
	水野 真理	●全共英語では、KULASIS の授業資料機能を活用して、欠席した学生にも資料を配布している
	石川 尚人	●講義資料、実習用教材を HP に掲載している 【URL】 ・ http://www.gaia.h.kyoto-u.ac.jp/~ishikawa/
	瀬戸口 彰浩	●実習テキストを KURENAI にリポジトリとして公開している
	高橋 幸	●全学共通教育英語ライティング・リスニングの授業に関して、GORILLA 上のリスニングコンテンツを利用している GORILLA : 英語ライティング・リスニング (ライリス) の授業で提示されるリスニング課題を行う Web 教材
	西山 教行	●全教科目のフランス語では文法教材をネットにあげ、現在、タブレット対応を進めている 【URL】 ・ http://www.flae.h.kyoto-u.ac.jp/~nishiyama/index_jp.htm